

少年團精神

279.5

43



始



279.5-43

少年團の精神

宮内書記官 伯爵

二荒芳德氏講述

(大正十一年全國青年團指導講習會速記錄)

財團法人日本青年館發行

大正
11. 11. 30
内交

少年團の精神

宮内書記官伯爵 一一荒芳徳氏講述

唯今から少年團の御話を致すのでありますが、初めの約一時間は私の方から少年團の出来ました理由及今日世界の現況並に日本の現況がどうかと云ふやうな事柄を申上げて、後の一時間は若し貴下方と少年團に就て御話を交換することが出来れば大變幸と思ふのであります。殊に今回御集りの方々は多く小學校の教育に御關係の方であるやうですから、小學校の教育と、少年團の教育とに就て充分に御質問を願ひたいと思ふのであります。

2

今日日本に於て少年團と云はれて居るものは甚だ種類が雑多であります。又た少年團と云ふものゝ意味も定義も分つて居らぬと思ふ。文部省の報告などにも少年團體と云ふ名稱を付けて、私共の云ふ少年團、其の外所謂子供會と申すものや、或は各宗教の色彩を有りました佛教子供會であるとか、基督教少年團であるとか云ふやうなものも加へて居るのである。私が今日御紹介致しますのは所謂ボーイスカウトであつて、又た今日日本が最も着眼しなければならぬと思

ふのは其のボーイスカウトの運動であると云ふことを申上げたいと思ふのであります。斯の如く申しますと私共は何か西洋の倫理運動、殊に少年に對する倫理運動を皆さんに御話致すやうに御考の方があるかも知れませぬけれども、決して西洋の直輸入ではないのであります。今日日本の赤十字社の發展と云ふものは最近非常なるものであります。是は決して日本から始つたものでなく、彼のシリミア戦争の時分に非常なる戦争の悲慘を見て、露西亞のヘレナ、パウロウナ大公妃や英吉利のナイチンゲール嬢と云ふやうな篤志の婦人が之を唱導し出して、今日文明國に於ては何れの國と雖も赤十字社の存在しない所はないと同時に、又た何れの國も之を外國のものとして取扱はず、皆自國のものとして取扱つて居るのであります。日本赤十字社と言ひ、獨逸赤十字社と言ひ、英吉利赤十字社と言ひ、皆共通であると同時に、皆自國を基礎として動いて居ります所の一つの人道的運動であるのであり、或は救済の運動であるのであります。我少年團も、元の起りは英吉利のペーデンパウエルと云ふ中將が唱道したのであります。今日に於ては到る處の文明國に此少年團の施設が出来て、お互ひに自國の特長を發揮する、それと同時に世界人文——或は文化と申しても宜しうございます——の運動に參與する、と云ふ大なる使命を考へながら子供を教育し、又た第二次の國民を造らうとして居るのである。然るに此のペーデンパウエルの始めた少年團が、其の源を何所に置いて居るかと云ふことを考へる時には、これは日本の昔の少年團體、或は薩摩の健兒社であると

3

か、或は藩々に存在する所の少年の團體の訓練と云ふものを基礎として居る。是は我 皇太子殿下が昨年英國に御出になりました時に、ベーデンパウエル將軍から殿下に献上致しました所の手紙の中に其ことを書いて居る。彼の申す所に依ると我々は、即ち少年團の運動者は「日本固有の道徳たる武士道の精神に依つて少年を教育しやうとするのである」、其の意味は即ち叱り付けたたり、或は教へ込んだりすると云ふやうな方法に依らないで、自己の名譽と云ふことを主とし、此の名譽を重んずると云ふ觀念を助長して、自から不道徳な、又た不善な行爲をさせないやうに教育すると云ふのである、と云ふ意味なのであります。又た日本の 皇太子殿下からは、エデンバラであつた少年團の大集會、約二千何百人と云ふ少年を集めた會合に於て、御詞が特にあつて、其の御詞の中には「少年團の運動は、世界同胞の精神を以て起り、此の運動の成功は嚮て世界永久の平和を建設するに貢獻することが少くないと云ふことをベーテンパウエル將軍から聞いた、それで予は斯の如き麗しい精神を保持したる少年團の運動が、當然收むべき有ゆる成功を得ることを祈ると共に、最近日本でも同じ目的を以て起つた少年團運動が段々盛んになつて行つて、今日英吉利で見るやうな盛大なものになることを希望する」と云ふ御詞があつたのであります。それで私はどう云ふ風に今少年團の精神が流れて居るかと云ふことを申上げたいと思ふのでありますが、私が今日着て參つた此の制服は、丁度赤十字社の制服が世界共通である、即ち赤い十字の印が直ちに赤十字と云ふ觀念を各人に

喚起するが如く、此の私共の制服も何れの國へ參りましても是は世界共通の制服であるのであります。決して英吉利の制服でもなければ、又た佛蘭西の制服でもない、皆少年團の理事は此の制服を着て、少年と一緒に行動すると云ふ、坊さんで云へば一つの法衣とも申すべき衣服であり一つの極つた國際的制服であるのである。そこでどう云ふことを目的にして少年團が動いて居るかと云ふことを是から御話致したいと思ふのであります。

世界大戦前に於ては、少年團の運動は唯少年の個性を發揮して完全なる教育を受けさせたいと云ふのが目的でありました。それに對しては歐羅巴の小學校の教育に言及致さなければなりません。假りに英吉利の小學校教育を見ると、少くも二つの制度があります。一つは公立小學校、他は私立小學校である。公立の小學校は殆ど日本のやうな經營の仕方であつて、所謂カウンセラー——州或は郡に當りますが——で經營して居る學校であります。之に對抗して存在して居るのが所謂私立の小學校である、是は殆ど日本の寺小屋と申しても宜しいやうな學校で、先づ個人の人格を基礎にして子供を教へる、と云ふのが趣意であります。所が日本では公立學校に行つて居れば子供も父兄も鼻を高くして自慢致しますが、少くも英吉利の學校に於ては公立學校に參つて居るもの、方が肩身が狭くて、寺小屋式の詰り私立の小學校に行つて居ります者が肩身が廣いのである。費用から申しても私立の小學校の生徒の月謝は州立の學校の生徒の月謝に比して何十倍も掛るのである。州立

は多く公費でありますから、生徒の授業料は極く少いのであります。何故さう云ふ傾向があるかと申しますのに、英吉利人は御承知のやうに人格主義の教育を非常に尊ぶ國である。小學校の教育に於ては先づ個人的の人格の影響、人格の刺戟を受けなければならない。然るに所謂公立學校に於ては五十、六十と云ふ澤山の生徒を一學級に纏めて、さうして先生がそれに向つて講義をして居る。さう云ふやうな講義の方法では兒童が其先生の教育を直接に受けることが出来ない。殊に人格方面に於て得ることが出来ない。之に反して所謂私立の學校は僅か二十人か十五人かの生徒を一堂に集めて、さうして先生自身が常に手を取つて教へ、又た個人の性格を見抜いて教へるのであるからして、其の感化と云ふものは遙に大きい。で彼等英吉利人は「自分の子供が何々先生の教育を受けることを希望する」と云ふ意味から何々先生の私立學校に入れると云ふことを常に申すのであります。所謂松陰先生の松下村塾などの趣きを、今日に於ても英吉利に於ては直ちにみる事が出来るのであります。

私は英吉利の小學校を大分視察致しましたが、或る時其の所謂私立の小學校に参つたことがあります。手紙を貰ひ番地を教へられて開校時間になつて頻りに其邊を捜して見たけれどもどうしても分らない。漸く書いてあつた番地の家が發見されたから、そこに行つてベルを押して此の邊に斯ふ云ふ私立小學校があるかと聞いた所が、出て來た女中が此所が即ち其の私立學校であると申したの

である。それは丸で普通の家である、而かも此の邊に御覽になるやうに所謂個人の軒並の家であつた。そこで這入つて参りますと校長さんが出て來て、もう先程から待つて居りました直ぐに教場に御這入りなさいと云ふ。教場と言つても矢張り普通の御座敷である、そこに皆腰を掛けて子供が勉強して居る。一方の壁には黒板があつて先生が教授して居る。這入つて行くと「日本から貴君方の教育を見に來なすつた方があるからして何か御話を上げて下さい」と云ふやうな和氣霽々たるもので、私は直ちにそこに紹介された。さうすると向ふの兒童は「お早やうございます」と皆で口々に言ふ。それから先生が此の間覺へた詩の暗誦をして御覽なさいと言ふと、皆が「私がやりますせう」と言つて出掛けるのもあれば、中には「自分にはどうも出來さうもありません」と言ふ者もある。さうすると先生が御やりなさいと云ふのでなくして、傍に居る生徒仲間で「貴君そんなことを言はないで御やりなさいよ」などと言つて後ろから突いて演壇に立たす。それから又た生徒の方からは「私共に何か話して下さい」と云ふやうなことを、別に先生の許を得るのではなくして直接に私に話します。それから上手にやりました暗誦などに對しては教場の中で皆が拍手喝采をする。日本などであると先生からそんな嬉しいことはいけないと言はれるのでせうけれども、向ふの私立小學校では、そんなことは當り前なのです。斯う云ふのが英吉利の私立學校の特長で眼に付く所であります。英吉利の公立學校は殆ど日本のやうな式でありますから是はもう特に述べませぬが、英

吉利の強味と云ふものは智育と云ふ方面でなくして、此の個人的感化を受け得る私立學校に大いに負ふ所があると云ふことを私は感ずるのであります。

ボーイスカウトの運動も、今申した私立學校の味が餘程加つて居るのであります。私はボーイスカウトの運動を英吉利では度々見に行きました。或る貧民窟のボーイカウトを見に行った時の如きも、其の團長ネヴィル氏が貧民教育に熱心な人で、兒童と寢食を共にして居る。其の結果としてボーイスカウトなるものは總て其の教養に於てもネヴィル氏の個人の感化を受けて、其の附近の他の子供と趣きを異にして居る。其の貧民窟と云ふのは有名なイーストロンドンと申して、最も汚い日本で見ることの出来ないやうな貧乏な區劃である。さうしてうっかり夜など行けば金を取られたり首を締められたりすると噂されてゐる。さうしてさういふ危険な區域が今日に於ても倫敦にはある。其の中に於て毅然として團長が子弟を集めて教育をして居る。彼の團を訪ねた時なども、態々彼等は停車場まで迎ひに来てくれました。彼等は制服を着て居りますが、規律なども正しく、倫敦の中央の貴族の子弟のやうな立派な躰を受けて、物と言ふのにでも極く丁寧な態度を以て申しましたのに私は感心した譯である。でさう云ふ人格的感化を少年團長は少年に與へると云ふ自覺がなければならぬ。其の爲には少年と一緒に總て起居する。食物なども少年と一緒に食べて、さうして接觸を保つと云ふことが、此の少年團の教育の一つの重大なる目的となつて居るのであります。又た

少年團の運動として、特に休暇の時などに致すのは所謂幕營である。皆天幕を持つて野山に幕營し其中に團長が世話を焼いて少年に色々の智識を授ける。日本で團長と申すと皆少年團の上に統帥して居るものやうに見えますけれども、英吉利で團長と申すのは少年から出ました少年を統帥する團長と、更に色々な事務方面に努めると云ふコンミツショナー即ち理事がある。私などの制服は是は理事の制服であつて、是が代り番に皆此の制服を着て露營して居る所に遊びに行く。例へば外務省に役人をして居る者が、夏休に一日なり二日なりを割いて天幕の中に寝る。さうして其の間は自分の専門の研究を話す、今支那の問題がどうなつて居る、經濟會議の問題がどうなつて居ると云ふことをやさしい言葉で少年に教へる。又た其外の人二日ばかり経つて代りに来る。それが醫科の人なれば衛生のこと傳染病のことなどに付て話をする。それが又た二三日して歸ると今度は實業家の例へば生絲商が来る。さうして生絲貿易の歴史を話したり、或は現在生絲はどうである、將來の生絲貿易と云ふものはどう云ふ風になつて来るだらうと云ふやうなことを話す。詰り理事の方では自分の職務に關する限りのもの、或は研究に關する限りに於て少年團員に知識を與へる、所謂それを社會奉仕の一端として居る。さうして少年と寢泊りをして少しでも良い國民を自分達の力に依つて造ると云ふのが即ち少年團の一つの目的であります。

それで此の少年團の運動は世界的である結果として、今日では幕營生活の交換をやつて居る。英

吉利から此の夏は例へば湖水地方で少年團の天幕生活をすから御出にならぬかと云ふ招待状を和蘭にも、白耳義にも佛蘭西にも出す。さうすると夏休みに佛蘭西から背囊を一つ背負つて此の制服で以て英吉利に天幕の生活をしに来る。外國と云ふ觀念は日本では可なり強い、けれども、今日に於て英吉利と佛蘭西の間は五時間か、六時間で行けます。殊にドーバーの海峡などは三時間程で通つて仕舞ふ。巴里と、倫敦の間ですら近頃は飛行機の定期がありますから、朝の八時に出れば晝は倫敦に着く。白耳義と和蘭であらうが、白耳義と佛蘭西であらうが、國境を接して居る。丁度我々が静岡とか、名古屋とか、或は仙臺に行くと同じやうに往來が出来る。さう云ふ關係で相互に交際して居りますからして、外國の事情が明になる。それと同時に外國人と云ふやうな氣分を段々失はしてさうしてお互ひが兄弟であると云ふやうな感じを少年團員に持たしめるのである。是は非常に重大なことであつて、今までの國民教育と云ふものは多く外國を敵とまで致さぬまでも、外國の長所を餘り認めないで、自國の尊大な感じを餘程助長した傾向がある。是は戦争の終り頃から盛んに論ぜられた所の所謂愛國心の功過と申しませうか、彼の先達中から稍々人氣者であつたバートランドラツセルなども此の愛國心と云ふもの、批評をして居る。是が日本の愛國心なる言葉で直ぐに理はずよりは彼の英語のペトリオチズムは何かと云ふと兎角自分の國は偉い、獨逸などは、獨逸と云ふ國は世界に冠たる國であると云ふやうに盛んに自國を尊崇せしむる、さうして佛蘭西人は客だ

と言つて相手にしない、英吉利人に對してはあれは商賣の國だと云ふやうなことを言ふ。又た英吉利人は英吉利人で、自分の國は決して領土に陽の没することがないと云ふやうなことを唱へ、他國を排斥すると云ふやうな教育の仕方が多かつた。是は自分の國の顯著な事實を説明することは悪いと云ふのでなくして、そのみを鼓張するの結果として他國の長處を無視し、他國を侮辱し、他國と同じ歩調の下に世界人文の完成に努力すると云ふやうな大きな幸福に着眼する邊なからしめたこと云ふことは大いなる缺陷だと思ふ。我國の如きも、明治の教育に於ては確にさうであつた。日本と云ふ國の長處を餘りに稱へ過ぎて、日本人は今日一種の自國尊崇症と云ふ、危険なる病症に罹つて居ると云ふことを斷言して憚らぬのである。日本が支那で失敗し、不買同盟をやらせるのはどうかと云ふと、向ふに行つた低級な連中が、自分達は征服者であると云ふやうなことを言つて不親善なことをし、支那人を窘め付けるからであらうと思ふ。又た朝鮮人が動もすると日本人に對して反感を有つて居ると云ふ事柄は、矢張り日本人が彼等を抱擁する能力なくして、徒に小さな自己を發揮し過ぎた結果であらうと思ふ。

要するに明治時代の教育を受けた現代人は襟度が狭いと云ふことは、先づ教育に一隻眼を有つた人は感じなければならぬ所であると思ふ。所がボーイスカウトの教育法は儘に世界的に共通なる自國尊崇症と云ふものに對して、一つの全然反對なる旗幟を闡明して居る。世界は同胞の寄合である

人類は兄弟である、と云ふことを常に申して居るのみならず、我々團員の仲間でもお互ひが呼びますのに兄弟の言葉を以て呼ぶのであります。私が英吉利の少年團の本部に参りますと私を兄弟と呼ぶのである。現に少年に私共を紹介する時に「ブラザー、フロム、ジャパン」と云ふ。又た私共が佛蘭西に行つて此の制服を着て本營を訪問すると、同じ世界同胞の運動に携つて居るものであると云ふ所からして、もう初めから百年の知己のやうに色々世話して呉れる。私は二度目に英國に皇太子殿下の御伴をした時に各國の少年團を訪問した。和蘭も訪問した、和蘭は和蘭の國王陛下の配偶様で居らせらるゝ所の御方が少年團長である。私が御目に掛つた時分に、私は少年團の理事であると云ふことを申した所が、非常に喜ばれて寫眞を直ぐ私に賜つた。少年團員であると云ふそれだけのことで特別の御信用を得た譯である。又た白耳義に行つた所が、是は皇太子殿下の御警衛を總て少年團員に於て致して、或る時の如きは巡查とか兵隊を使はないで殿下の往來の御警衛——即ち交通整理とか、或は殿下を御導き申すと云ふやうなことを總て少年團員がやつて居る。又た其時などは白耳義から徽章を私に呉れました、茲に着けて居るのが日本の勳章のやうなもので、勳章を付けない時にはリボンを付けることになつて居る、是は世界共通の徽章であるのであります。それから佛蘭西の本營に参つた時の如きも丁度良い所に來たからと言ふので直ぐに例の「日本の話を聴かして呉れよ」と申しまして、子供の集つて居る所に連れて行つて「今日の日曜の話は日本から來

た兄弟の話を聴くことにしやうぢやないか」と申してもう殆ど外國と云ふやうな氣分を有たさない。此方は向ふの國に参つて其の國の言葉で話をするのだから非常に迷惑であるからして、自分は子供に話すなど云ふことは出來ないと云ふことを申した所が、「そんなことは他人がましいから、どんなことを間違へても宜い、又た日本の兄弟が此の國へ來て此の國の言葉を使ふ時に、どんな所で間違へるか非常に興味があるから子供等は喜ぶのである、是非話して呉れ」と云ふやうに他人扱ひをしない。印度に行つた時も、ちよつと一時間ばかり餘裕があつたからして直ぐ少年團の本營へ寄つたところが、そんな短い時間を利用して尋ねて呉れたのは喜ばしい、早速少年團に話して呉れと言つて印度でも亦日本の話をした。

斯う云ふやうな狀況で、少年團の運動と云ふものに依つて段々國と國との境をなくして行くこと云ふことが一つの主眼である。それと同時に各國は必ず自國を先づ美化しなければならぬ、世界國と云ふやうな思想が今日出て居ります、或は世界愛——世界に對する愛情——詰り愛國心と同じやうに世界を愛すると云ふ思想が出て來て居りますが、是は自國を見ないで勿論言ふことは出來ない、先づ自國を一番立派な國にすると云ふ確信の下に動き出さなければ國は良くなる。うつかりすれば何所か國の利權でも奪つて甘いことをやらうと云ふ世の中であるから、子供をして先づ自國を大事にすると云ふことの觀念を強めなければならぬ。即ち我々の國で申すならば日本の有難い國體、

即ち君民が一致して居る、昔からの長い歴史を有つた、此の美しい歴史を益々磨き擧げて世界で一番心持の快い、住み宜い、文化の輝いた國にするに云ふ努力を致して、それに一歩々々近づいて來るならば、即ち世界が日本の部分に於てはそれだけ美しくなつたことになる。支那でも、英吉利でも其の調子でやれば、少くもそれを全體として見れば世界の調和的存在も近づいて來たと云ふことであるからして、是あつてこそ眞に世界の平和と云ふことが出來、それによつて愛國心、尊王心と云ふことが一致すると云ふ時機に達すると云ふことを確信して我々は運動して居るのである。ちよつと一つの村を良くしやうと云ふのに、唯役場へ行つて色々議論したり、辻説法をした所で仕方がない。先づ其の爲には家庭を良くしなければならぬ。一つの家で以て滞納がないとか、或は清潔が能く行届いて居るとか云ふことが大切である。さうして其の家族を良くする爲には先づ各個人が自己を良くしなければならぬ。良い家庭が集つて一つの部落を成して來れば其の部落は模範村である、それが國家に擴がれば理想的の國家である、世界に擴がれば所謂世界的最後の調和的存在に達する。斯う云ふ大理想の中で、兒童も修養し、團長も、理事長も修養して行く、斯う云ふ立前なのであります。

尙ほ少年團の個性の教育に付ての重要な點を御話致したい。是は御承知かも知れませぬが成溪學校の中村春二と云ふ人の採用した其の比喩が大變面白い。個性の引出しと云ふとは、日本の様に

一學級に五十人も六十人も集めた教育では到底出來ない。丁度兒童の頭には色々の恰好した頭がある、ソツプ皿のやうに入口の廣い頭の持主もあれば、サイダ瓶のやうな口が小さくて下へ行つて擴つて居る頭の持主もあれば、コツプのやうな頭の持主もある、そこに教育と云ふものは自分の創案に依つて丁度如露を以て此等の器に水を入れて行くやうに、六十人一學級の生徒に水を撒く。さうすると其の中でソツプ皿のやうな頭の入口の廣いものは澤山水を受けるけれども、サイダ瓶のやうな頭の持主は其の中の二三滴しか這入らない、さうして此の一年の後の結果と云ふものは、ソツプ皿のやうな者が所謂優等生になる、サイダ瓶のやうな者は低能兒と云ふ判を押されて仕舞ふ。けれどもそれは入れ方が悪いのであつて、如露で入れるからさう云ふ結果になるのであるが、若し漏斗と云ふものを使つてサイダ瓶のやうな頭の持主に水を注いだら、ソツプ皿と同じだけの量以上をも兒童の頭に入れることが出来るのみならず、ソツプ皿は少し振れると水が溢れるがサイダ瓶は倒しても尙ほ口が細いので溢れないと云ふやうな結果になる。所がお互ひに我々の子供と雖も何時學校で低能兒の判決を下されるか分らぬけれども、それを直ぐにもう低能兒であると早合點して疑はないやうなことが今日多くはないか。さう云ふやうなことを少年團ではどうするかと云ふと、毎日々々少年に接して居つて、此の少年の頭はサイダ瓶のやうな頭であるからして如露のやうなものを使つて水を入れてやらうと團長の方で考へたり、この少年の頭はソツプ皿式だから溢れぬや

うに蓋をして行かうと云ふ様に各兒童の腦にあてはまる各種の教育法が出来て居りますから、例へば手工に適する者は手工を興へてやるし、それから推理力に缺けて理論を推して行く頭の足りない者には其の理論を推して行く色々な方法を講ずる。例へば森林に這入つて木の研究をして、どう云ふ氣候にどう木が育つて行くかと言つたやうに教へて行く色々な方法がある。少々モンテソリーの教育に似て居りますが、さう云ふものを使つて少年の頭を引出して来る。少年の完全な個性を引出すと云ふことが、少年團の教育では出来るのである。

もう一つ考へなければならぬのは、學校の成績と云ふものがどれ程人間の將來を誤たしめて居るかと云ふことである。成る程小學校、中學校、大學と云ふものを経て行く間に皆一番なり、二番なりの成績で卒業した人がある。さう云ふ人が假りに二人あつて、二人とも行政官に向つて行つた。所が甲の人は其の行政官の手腕を非常に發揮したが、乙の人はちよつとも行政官としては適當でないといふやうな場合が屢々あるのである。何故かと云ふと甲の人は人を統率するの才能を有つて居る、乙は成る程學問に於ては甲をも凌ぐ程の人であつたけれども、人を統率するの才能が丸で缺けて居つた。それで本當の正しい物差を以て、甲の學生は斯う云ふ方面に向くと宜いと云ふことを甲が自覺するやうに教へ込み、又た乙の人はお前の性格は斯う云ふ方面に向くと云ふことを子供の時分に自覺せしめたならば、甲は政治家に乙は學者になつて兩方とも良い頭を使つて、一は大政治家

になり、一人は非常なる發明發見をするかも知れない。所がさう云ふことの物差が今日與へられて居らぬので、唯學問さへ出来れば政治家にもなる、或は學者にもなると云ふやうな考で、ほんやりと自分の職業を選ぶ點が非常に其の人を不幸にせしむる。其の人を不幸にするだけなら宜いが、國家の所謂能力動員の上から言つても非常な損失である。少年團の教育法なるものは、其の方面に向つても各々其の特長を知らしめてやる。さうして自分が職業を取る時には正しい自分の適當な職業を自から見付けて、之に這入つて行くと云ふやうなことも出来るのである。

そこで斯う云ふやうに申して參ると、何だか小學校の教育は權威がなくて、少年團の教育で萬事を律することが出来るやうに私が説いて居るかの如く見えますけれども、さう云ふ意味ではない。小學校の教育はどうしても今日は財政の關係とか、或は校舎の關係で先刻申した如露式になつて仕舞ふ。少年團の運動は是は各人が各々自分の力を一部割いてさうして少年と云ふ者に觸れて、さうして小學校の教育の足りない所を補つて、完成せしめやうと云ふ一つの目的を以て進んで居るのであるから、小學校の教育と、少年團の教育と云ふものは全く并行すべきものであつて、毫も兩方で排斥し合ふものでないのである。若し小學校の方で出来るならば少年團式の教育を探りさへすれば少年團の設立をしないで済む。例へば先刻申した成溪學校の如きは一種の少年團に似た教育を學校其のものが探つて居るやうに私は感ずるのである。併し何と申しても、小學校の先生が各方面の知

識を總て完全に得られると云ふことは出来ないからして、勢ひ他人の力を借りなければならぬ。そこで役人も這入つて来る、或は藥屋さんも這入つて来る、或は法律家も這入つて来る。さうしてさう云ふ人が團の制服を着て、さうして子供と一緒に自分の暇を使つて寝泊りをして教育して行く。云ふやうな組織は、少年團としてはやり易い式であるから、此の式に依つて我々は子供を教育して居る譯であります。

尙ほどう云ふ風にして此等學校の事で忙しい小學兒童を教育するかと云ふ方法に付ては、細かく申せば切りもないが、先づ歐羅巴諸國では、例へば日曜の晩とか、或は木曜の晩に一度とか、約一週間に二度ばかりの集會をする。さうして其の集會の爲には、何所かにちよつとした集會所を造つて居ります。日本で申せば丁度青年の集まります青年館のやうに、町役場や小學校の一室に少年團の部屋が出来て居る。そこには手紙を書く紙もあれば硯も置いてある。ちよつと立ち寄つて茶を飲むやうにお茶や土瓶もある。さうして今週の木曜日には少年團の小集會を催すと云ふと、そこに少年團員がその時間に集つて来る。そこで皆が饅頭餅でも嚼つて、どんく面白話を交換する。日本で言へば其の位の所でありませうが、自分の經驗談を爲し、或る人は自分は近頃煙草を止めやうと思ふ、或は村人は未成年者の飲酒を止めやうと思ふけれども出来ない、どうしたら宜からうかと云ふやうなことを話合ふ。又た場合に依ると皆で軍歌を歌つたり、或は西洋には大抵ピアノが少年

團の事務所に備へてありますから、それで以て音楽をしたり、或は樂隊を有つて居るやうな少年團も澤山ある、さう云ふことに依つて絶えず一週間に二度宛の親み合ふ機會を造つて居る。其の少年團員は、小集會で約したことは斷じて守つて行く。例へば時間の厲行と云ふやうなことは、是は嚴肅に少年團員は守つて居る。さうしてそれと同時に團長、理事長と云ふやうな年寄も、飽までも約束は守つて行く。尤もさう云ふ人は少年團員の約束を全部守ると云ふのではない。例へば少年團員は煙草を喫むのを止めやうでないかと云ふことを約束したら、それは團長も理事長も止めなさいと云ふのでなくして、或る程度まではそこに大人と子供の差別が付いて居る。それと同時に時間の厲行と云ふやうな大人も子供も共通な約束は、飽までも守つて行く。それで何でも實踐で行く。日本では私は其點が確に缺けてると思ふ、指導者は動もすると命令して置いて自分は平氣で時間などを間違へると云ふのが有る。こんな事を治し損つたら少年團の運動と云ふものは到底成功しない。それから又た日本で少年團長と云ふやうな方は今日澤山な名前を以て御出でますけれども、さう云ふ方が少年團員と一緒に働かれるかと云ふと、それは大抵働かれない。何も同じ業をする必要はないけれども、少年團員が制服を着て居つて脚絆掛であるから、自分も身輕な裝で一緒にやれば宜いのに、片一方は斜子の紋付で居ると云ふやうなことでは、それはもう總裁格であつて、逆も團長と云ふ資格がないのであります。

それから少年團には標語がある、それは「常に用意せよ」と云ふことであります。是は英吉利などでは始終言はれることで、何時でも事があれば應ぜられるやうになつて居る。是は日常の我々の生活としましても誠に宜い金言であります。又た人に對してでも、自己に對してでも、有らゆる親切を盡して、人を誤まらせないやうにすると云ふ事柄も亦た要項に入れてあるのであります。さう云ふ風に教育された少年兒童と云ふものは、總て中堅の國民となつて参りました時には、お互に國家と云ふものを充分に愛し得ると同時に、又た世界と云ふものを充分に愛し、人類と云ふものを充分に愛し得る其の結果として、世界には小さな争がなく、反感と云ふものがなくなつて来る。階級の争と云ふやうなものも、争で解決を付けると云ふやうな道行をしないで、お互が最も謙讓な最も恭謙な態度を以て解決をしようと試みるし、又た他の一面に於ては公明正大に、假令貧であらうが自分の所信と云ふものに付ては斷じて之を違奉し得るし、又た裕福な者も飽までも自分の資産等に就ての公平な所有をすることが出来る。詰り私するやうなことがなくて充分に公の爲に活動し得るやうなものになるだらう。斯う云ふ大目的を以て世界の少年團運動は今日動いて居るのであります。それに負けないで日本の少年團運動も昨今非常なる勢で以て發展して参りました、我々も今日少年團の制服を着けて能く會合を致し、我々其の關係者と致しましては自分の法衣であると云ふ考で必ず之を着て、少年と一緒に野良の花のある所に行き、少年と一緒に起居すると云ふ今

狀況になつて居るのであります。先達て英國皇太子の御出でになりました時は、少年團員は赤坂の離宮に集まりまして、殿下の萬歳を唱へ、殿下からは御懇篤な御言葉があつたのであります。今日東京聯合少年團長は後藤子爵が御やりになつて居ります。そして近く日本少年團なるものの聯合が出来る運びになりました。行く／＼は皇族殿下を拜戴するの光榮を得る域に達したいと念願して居るのであります。是から御質問を受けたいと思ひます。

問 貴方の御やりになりました少年團の年齢はどの位でありますか。

答 「ボーイスカウトの精神」と云ふ本があります、奥寺と云ふ人の書きました本で、中央報徳會から出して居ります。此の本に依つてボーイスカウトのことが能く分るのでありますが、詰り西洋では、幼年團と云ふのが六つ頃から始つて八つばかりまでで、それから先きが少年團であります。八つから十六、或は十四まで行つて居ります。其の先きは年長少年團であつて、各員々々で補習的に色々の教育を受けて居る。其の三つを御覽下されば宜い。私共の申します少年團は八つ頃から十四五までのものを包含したいと思つて居ります。文部省では今其の年齢を決め掛けて居ります、私も囑託委員になつて居りますが、今明確に決定して居りませぬからちよつと發表致し兼ねます。文部省の方でも小學校教育の關係を論議して、もう近い中に何等かの形式でさう云ふ年齢に就ての意

見を發表するだらうと思ひます。それから先程のベーデンパウエル將軍から日本の皇太子殿下に差上げた書面の文句を左に御紹介致します。

日本皇太子附秘書官殿

拜啓 日本東宮殿下が御訪問中に於て少年團運動に就きて御見學の思召あらせらるる由を拜承仕候就ては若し殿下にして御開屆相成候に於ては集團運動臺覽の爲にエヂンバラ少年團大集會を以て少年團の實科的訓練及び經營の爲にはフランホードに於ける小集會を企畫仕候 少年團運動を理解せざる人々は總じて少年團運動を目して少年を兵士たらしめんが爲にする豫習教育の團體と思惟することに御座候右の見解は全く誤れるものにして將來は日本武士道の精神に依りて少年を教育せんが爲に眞に多大なる努力を致す目的に御座候名譽及愛國の觀念を鞏固に感銘せしめ其少年の如何なる生涯に入るも祖國に奉仕せんが爲に肉體的には強壯に技能の上には聰明ならしめんとするものに御座候 生等は更に日本の主義に依りて懲罰てふ異法に依らずして少年の分に應ずる愛國的欲求より來る訓育及善行を鞏固にせんが爲に注意を注ぎ居り候其外今日世界文明國に於て教育の補充として少年團運動の發展せざる所殆ど之無き盛況に達し申候 更に少年の分に應じたる潑刺たる愛國の念を興起し過激思想及其他の革命的企畫に對する下毒劑たるの故を以て祖國の幸福を念とする總ての人士に囑望され居候

問 費用はどう云ふ風に……非常に掛るだらうと思ひますが……

答 是は日本で羨しいと思ひますのは、歐米では所謂國家を念とする連中から、非常な同情を寄せて澤山な寄附をするのであります。是は西洋の思想が大分日本と違ふのであります、日本であると例へば岩崎でも三井でもさうでないかと思ひますが、甲の事業にも、乙の事業にも、丙の事業にも均一に出して仕舞ふ。所が西洋の人は私はボーイスカウトの爲には何萬圓出す、が併し外の慈善事業には別に出さないと云ふやうな篤志家が非常に多い。それで金は向ふから進んで出すやうな寄附と、それから他の一つは矢張り少年團の方から進んで寄附を求めに來ます。現に私なども國境を越えて寄附を頼まれる譯であります。先程申しました倫敦の貧民窟の少年團から先達も突然手紙が來て、少年團の本部を修繕しやうと思ふから應分の寄附をして呉れと言つて來ました。それから何處の團でも自分で稼いだものを幾らか積立て、行くと云ふことをやつて居る。所が是は日本でもちよつと問題になつたのであります。西洋のやり方は何か仕事を與へるのです。例へば夏箱根で天幕講習をやる、其の時には陸軍省と約束して、山の草を少年團の事業として毎朝一定の時間刈つて陸軍省で買はせる。さう云ふことをしても基金が出来る譯で、私が倫敦に居ります時分郊外の天幕生活を見に行つた時に、少年が大きな荷馬車の馬を御しながら草刈をやつてゐる。こんなに刈つて何處に捌けるんだと言ふと一噸五ポンドとかで陸軍省が買つて居りますと言ふ。政府が少年團の經營

を助けて居る。序でに團服に就てちよつと申上げますが、團服の必要不必要は別問題ですが、假りに制服が必要としても、日本の少年團は必ずしも之を着る必要がない、筒袖、袴、何ても宜いのであります。共通な着物を造るのには金が要るからと云ふ譯であります。所が向ふではどう云ふ風にするかと云ふと、例へば五圓掛る着物であるならば、初めに五十錢を取つて着物全部を貸してやる。其の團服に對して「お前は是から少年團員だ、名譽に掛けても團服の支拂はしなければならぬ」と云ふことを言つて、さうして自分が毎朝一時間早く起きて、人の庭を掃くなり、使ひをしてなり、何か働く。それに對して理事長から報酬として三十錢なり、四十錢なりやる。それが十日間も續けばそれで支拂が濟せて自分の物になる。斯う云ふ方法を西洋では探つて居ります。

問 今日日本では費用はどうなつて居りますか。

答 例へば静岡の少年團は市で補助をして居つて、一部は團長が出て居られるやうに聞いて居ります。外でも多く補助はして居ります。寄附に依るものもあるやうであります。多く少年の自持ちになつて居る。會合をする時も幾らか持つて来てやつて貰ふ、と云ふ風になつて居る。栃木縣の安蘇郡の少年團などは佐野伯爵の經營で、各町村から一番良い少年を集めて、純然たる制服でやつて居るのですが、是は佐野さんの寄附に依つて出来て居る。京都では少年義勇軍があります、中野といふ資産家の藥屋さんが經營して居つてなかく、良く出来て居ります。これも多く中野さんの

篤志な寄附でやつて居るのだらうと思ひます。それから岳陽少年團、是は静岡縣下全體にあります。是などは團長渡邊少將の負擔の外、多く團員自身が出て居るやうに聞いて居ります。

問 制服は會合の際に着用するのでしょうか。

答 勿論會合の際に於ては着て行くのを原則として居ります。此の制服は歐羅巴では非常に重要視されて居つて、燕尾服と同様な資格がある。現に白耳義で日本の皇太子殿下が知名の士を晚餐に御招待遊ばした時に、一人の少年團長が居つて、外の人は燕尾服か、軍人ならば通常禮服と云ふ所を少年團の制服で出て来て居つた。日本ではさう云ふ規定もないし、服制の關係でさうもいかぬが、少年と行動を共にする時には、同じ風をしようと云ふことが一番大切だと思ふ。

問 少年團員は小學校に通ふ時も其の服装を着けるのですか。

答 それは日本では問題になつて居ますが、静岡では許されたと云ふ話であります。

問 さうするとさう云ふ事は其の團で決めて宜いのでありますか。

答 學校經營者としては或者だけ特殊の恰好をして来る事は迷惑だと云ふのが普通だと思ふ。西洋では洋服が普通の着物で、運動服が此の服ですから、團服が一つあつても差支ないが、日本であると外へ通用しないのも困る。だから團服は私は直ぐおやりなさいとは言はない。詰り學校袴で記章を付けるなりして、少年團の氣分になつてやつて貰へばそれで宜い。

問 外國には青年團と申すものはないのですか。

答 青年團は實際ないので。特殊のもの、詰り一種の青年を集めた修養機關はある。英吉利にもボーイブリゲートと云ふのがあるけれども、日本のやうな統一したものはありません。

問 さう致しますと二十四五の者は別に何も組織して居らぬのでありますか。

答 詰り年長少年團と云ふのがあつて、少年團の客分として或る程度まで連絡して居ります。少年團に這入つて居た者は商賣などに就いても、昔少年團員であつたことを現す爲に記章を付け、同時に不正なことはしない、嘘は吐かない、約束は守る、と云ふことを申して自ら任じて居ります。

それから我々は此の服で歩いて居つて途轍もない時に握手されることがある。現に鎌倉でも記章を付けた人と握手した。此の記章をカフス釦などにして居る人もある。同じ兄弟だと云ふので肩でも叩いて行くと云ふのであります。少年團員は左で握手するとかその他色々約束があります。

問 先程御話の年齢時代は、多くの者は六ヶ年の義務教育を終つて青年團に加入致します。青年團が既にあるのに、其の上に少年團を造ると云ふことになりなすかと重複して複雑致します。

答 私は頗る簡單であると思ひます。殊更少年團なるものを造つて戴く必要はないと言つて宜いでせう、良青年團が出来て居ればです。教育も一つの技術だと思ふ、例へば極端に言へば所謂青年團と云ふものは團體を先きに造つて仕舞つたが、一體どう云ふ教育方法を以て青年に對しやうと企

てたか。私は不幸にして其の計畫は本當になかつたのぢやないか、唯抽象的に、日本は重大な時機に際して居る、どう云ふ方法に依つて青年を精神的に陶冶するか、如何なる手段で愛國心の實修をやるか、それが青年團には具體的成案として全然なかつた。無定見に糾合したのである。其所に青年團の行詰りの弱味がある、斯う思ふ。

問 外國では少年團の精神的訓練はどう云ふ風にやつて居りますか。

答 それは自由で、兎に角少年團は何かの宗教に依れと云ふことになつて居ります。西洋では所謂神と君主に忠實であれと云ふことを頻りに言つて居ります。神と云ふ意味は兎に角人間以上に超越したものと云ふ意味であります、我々から言へば天照大神と云ふことが一番良いと思ふ。國王のない所は憲法と云ふことになつて居ります、佛蘭西などがそれです。露營などの時は遙拜に類する國旗敬禮と云ふのをやります。

問 さうすると日本でやつて居る形式は唯今の御話のやうなのでありますか。

答 神宮遙拜は普通何處でもやつて居る。或は心の力を期誦するとか、冷水浴をやらせるとか、云ふやうなことは指導者の個性の出る所で、自由にやつて宜い譯であります。

問 ボーイスカウト、ジャンボリーと云ふのは何う云ふ意味でありますか。

答 大集會と譯したら宜いと思ふ。亞米利加印度人の言葉で、何でも嬉しくつて堪らない、大き

な野原に集つて、自由自在に飛んだり跳たりする所謂欣喜雀躍の集りがジャンボリーで、欣喜雀躍とも言へないし、其儘ジャンボリーと云ふのです。併し普通日本でやるのは小集會ツレと云ふのです。

問 少年團の本當の目的は修養ですか。

答 固より修養團で、此頃盛になつた子供の會なども一種の少年團教育をやつて居る譯です。

問 日本の現在の少年團數はどの位ありますか。

答 昨年までは五六十位と思ひますが、定義が決まらないから結局幾らとも言へませぬ。

問 少年團に對する少女團の状況を簡單に御話を願ひます。

答 少女團は殆ど少年團と同じで、今日英吉利などでも事務所を同じ所に置き、規約も殆ど同じです。唯教育訓練法が多少違ふのであつて、例へば女だけに着物の改良を考へて見たり、慈善市をやると云ふやうなことが主になつて居ります。露營などはやつて居ります。服装は矢張り少年團のやうで唯黒いのを用ゐて居る。一種の少女軍と云ふべきもので、日本では善いか悪いか分りませぬが、帽子なども特定の帽子で、舉手の敬禮をやつて居ります。英吉利では此の間結婚されたメリー内親王殿下——今はラッセル卿夫人ですが、——メリー内親王が總裁である。私は一度其の會合に行きましたが、慈善市、音樂會などをして、廢兵の爲に金を集めたりする。それから運動としては、背囊を背負ふ圓杖を持つて公園なり、野原なりに集つて、新鮮な空氣を吸つて、色々な仕事をして

居る。日本でも女子が如何にも因循であるからもう少し少女團の方を發達させたいと云ふので盛に研究されて居ります。

問 私は昨年二月子供會を組織致し、大體遊戯遠足などをやつて居りますが、之を盛ならしめるに就て何か宜い方法があつたら御話を願ひたいと思ひます。

答 團員數は成るべく少ない方がよい。普通八人位で始める、一人で三四十人も扱ふことは先程の如露式になる。小さく纏めて行つて始めて少年團が動くと言つて居ります。

問 私共のやつて居りますのは高等學校の生徒が當つて呉れて、百五十名から二百名も集る者を一緒にして話をしたり、遊戯をしたりして居ります。これは少數が宜いかも知れませぬですな。

答 どうも他人から兒童を頼むと申して來られて段々人數が殖えるのですが、私の知つてゐる熱心な團長などは入團を拒絶して居る。色々父兄からも頼まれて來るけれども、自分では逆ももう駄目だから誰か良い人を見付けたらと言つて斷つて居る人がある。併し其の團は成功して居ります。

問 家庭では親との關係がある、學校では先生との關係がありますが、少年團では全く横の關係で役員も團長も總て團員の中から選出して自治的に經營さして見たいと云ふやうに思ひます。そんな所はないものでありませうか、理窟から言つて出来るものでありませうか。

答 御話の團長は實際は少年から出るのです。指導者の方は理事で、幾らか上に立つて財政の世

話をしたり、物を買入れる時に掛合つてやつたりする。けれども團長と云ふものは團員の中が一番良いものを推薦する譯なので、それで行かなければ少年自治の精神の涵養は駄目だと思ふ。今父兄の關係が出ましたが、下層の方になると子供は學校以外には父兄の収入を助けて居るから、矢鱈に引張り出しては困ると云ふ説が出るが、何も一週間に二度位出しても父兄の損にはならぬと思ふけれども、若しさう云ふ事情の團員が澤山居る地方であれば、少年團理事は何か職業を世話してやる走り使ひでも草刈でもやらせて、それに對して直ぐに金を渡していかぬなら親の方に幾らかの金を渡してやると云ふことまで考へてやらなければ日本では少年團は出来まいと思ふ。彼の國では大抵少年は多くとも朝の八時から晩の五時まで働けば後は、もうお前は一日働いたのだから静養せいと云つて能く遊ばしてやるのが普通なんです。我が國の如く暇があれば遊んで、用があれば何時でも使ふと云ふやうなことは考ふべきことであると思ひます。

問 家庭には親があり、學校には先生がある。所が學校と家庭以外に於ては何等の指導者を持つて居りませぬ。現在では其の範圍にて少年團を組織して、さうして子供をして強く正しく楽しく生立たせたい、斯う考へます。従つて少年團のやることは一週間二回集ると云ふやうなことになしに學校及家庭以外に於ける時間に於て、間斷なく何かやる方法はありませうか。

答 それは一週間二回と申したのは緊縮させるのであつて、後は好きな連中が役場の俱樂部室に

集まる。集まれば色々面白く話も聞き、皆で勝手に色々な計畫をして居る。室を色々飾るとか、瓦斯管が来て居れば瓦斯焔爐を拵へて見たり、紙を切つて戯れて見たりして遊んで居る譯です。少し氣の利いた所になりますと少年團の庭を持つて居ります。又た活動寫眞の世話をしてやつたりして居る。詰り定期集會が一週二度なのであります。併し毎日の事を受持つと云ふことは、なか／＼一人で出来ないことだから、指導者として在ゆる方面の人格者が斯う云ふ制服を着て或る時間だけを御奉公すると云ふやうに、所謂有力者が考へて呉れなければならぬと思ふのです。

問 私は松本市でありますが、本年の夏ちよつとした動機から自分の家で近所の子供に話をした。それから毎晩来てどうか話して呉れと言つて来る。二ヶ月やつて居りました。それで夏は農村では駄目ですが、市街地では子供を集めることは樂であります。夜涼みの時間を利用致します。

答 それは結構です、夜でも一向差支ないと思ひます。地方の状況で農繁期などは餘程御考を願はないといけぬと思ひます。現に英吉利などでも海に近い所は海に關する智識の涵養をやつて居る、海少年團と云ふものを造つて、遊泳とか、天候を見ること、雲のこと、風のことなどを研究させてをります。其所は全く地方的の色彩があるので面白いのです。

少年團教育は非常に面白いと同時に、行詰つた教育に對する大きな暗示だと確信して疑はないのであります。どうぞ御歸りになりましたら充分に御研究を願ひたいと思ひます。

講演速記錄

● 內務大臣	水野鍊太郎先生……(告辭演說)	一部八錢	送料二錢
● 文部大臣	鎌田榮吉先生……(告辭演話)	同十五錢	同
● 社會局長	田子一民先生……地方青年の爲に	同十五錢	同
● 普通學務局長	山崎達之輔先生……青年團と補習教育	同八錢	同
● 文部省參事官	下村壽一先生……歐米視察瑣談	同十五錢	同
● 日本青年館主事	座間止水先生……複式講習の原理と實際	同十五錢	同
● 社會教育課長	乘杉嘉壽先生……社會教育に就て	同十五錢	同
● 工學博士	佐野利器先生……現代の科學	同十五錢	同
● 日本禁酒會理事	村松吉太郎先生……我國將來に於る禁酒問題	同十五錢	同
● 日本青年館理事	公爵二條厚基先生……音樂の力	同十五錢	同
● 高等師範教授	綿貫哲雄先生……社會動學	同十五錢	同
● 文學博士	紀平正美先生……哲學と宗教	同十五錢	同
● 帝國大學講師	松浦一先生……文學の神性	同十五錢	同
● 高等師範教授	檜崎淺太郎先生……青年の心理	同十五錢	同
● 法學博士	米田實先生……世界の現勢	同十五錢	同
● 文學博士	澤柳政太郎先生……歐米教育界の趨勢	同十五錢	同
● 文部圖書官	內田寬一先生……萬國々境	同十五錢	同
● 宮內書記官	伯爵二荒芳德先生……少年團の精神	同十五錢	同
● 高等師範教授	大谷武一先生……社會體育附文化體操	同十五錢	同
● 大正十一年度青年團指導者講習會速記錄全集(合本)		同二圓	同十二錢

大正十一年十一月十三日發行
 編輯兼發行所 東京市東區谷町一丁目一十一番地 財団法人日本青年館
 印刷所 東京市東區谷町一丁目一十一番地 財団法人日本青年館

279
43

終

